

| 節 | 対戦相手     | H/A | 試合結果 | 監督談話  |
|---|----------|-----|------|---|
| 1 | 九州三菱自動車  | H   | ○4-0 | <p>第1節、第2節とも満足しているわけではないが、チームとしてチャレンジしよう、トライしようと考えて来たことが目に見える形になって来たと思います。</p> <p>とくにディフェンスの連動については意識してきたので、この2試合ともうまく出来始めている。</p> <p>一方でオフェンスの連動についてはいまいち。2試合ともアタックの判断、ポジショニング、スピードなどは物足りなかったと感じます。</p> <p>時間をかけてやってきたが、ラストパスの精度やゴールを奪うための判断力はまだまだ足りない。</p> <p>試合をこなしながらこのあたりの意識レベルを上げて、互いに要求していくことで質を上げていきたいと考えています。</p> <p>一つ一つのプレーの速さ、判断の速さを求めています。</p> <p>今シーズンも各地でお世話になります。リーグの皆様、各チームの皆様や関係者の方々、よろしくお願いいたします。</p>  |
| 2 | 川副クラブ    | A   | ○3-0 | <p>今日の試合を振り返って感じたのは、ここから先、成長していけるかどうかは一つ一つのプレーの中でちょっとしたことにこだわっていけるかどうかだと思います。</p> <p>ポジショニングや、ツータッチで行くのか、あるいは持ち運んで行くのか。そういったちょっとしたことだが非常に重要な「判断」をいかに的確に素早くできるか。</p> <p>チームとしては悪くないからこそ、そういった質の高さを求めて、それを超えていけるかどうかだと思います。引き続きの課題として真剣に取り組んでいきたいです。</p> <p>それから、スターティングメンバーと途中から出場した選手達の間で、チームとしてどう試合を戦っていくのかという点でもっと共有する必要があると感じました。</p> <p>今日の試合では、途中出場の選手達が、それまでの勢いをむしろ削いでしまった部分があった。もっとチーム全体としての試合運びや役割を確認して、共有を徹底する必要があるなと感じました。</p> <p>悪くないからこそ、質を高める努力を一層強くしていきたいと思います。</p> <p>あいにくの天気でしたが、対戦した佐賀LIXIL FCの皆さん、審判団の皆さん、応援していただいた皆さんに感謝もうしあげます。</p> |
| 3 | 佐賀LIXIL  | H   | ○4-1 | <p>試合を終えて全体として、相手をゼロに抑えることができた点は評価できると思います。</p> <p>前節では途中出場の選手たちが試合のバランスを崩してしまったことが大きな反省点でしたが、今節は途中出場の選手たちが流れをしっかりと把握しつつ、それぞれの役割をスムーズに果たしていたし、その選手たちが追加点も奪うことができていて、よかったと思います。</p> <p>ただ、後半は相手にチャンスを与えてしまう場面がありました。これは自分たちのディフェンスが徹底されていなかったことが招いたピンチでした。</p> <p>まだまだディフェンスのところで安定感というか、細かいところが徹底されていないと感じました。細かく、きっちと徹底されたディフェンスは生命線だと思います。</p> <p>日々の練習でしっかりと細部も積み上げていきたいと思います。</p> <p>今節は沖縄ダービーとなりましたが、ホーム運営の海邦銀行SCの皆様、ボールパーソンを務めてもらった那覇西高校サッカー部の皆さん、県協会、審判団の皆様、そして応援に駆けつけていただいたサポーターの皆さまに感謝もうしあげます。有難うございました。</p>                                   |
| 4 | 海邦銀行SC   | A   | ○4-0 | <p>全体としては悪くない内容だったと思います。</p> <p>前半は得点のチャンスが複数回あった中で決めきれませんでしたでしたが、これまでチームとしてトレーニングを重ね、やりたかった攻撃スタイルができつつあり、選手たちも意欲的にチャレンジして、自分たちの狙っているスタイルが出せてきたと思います。</p> <p>前半では得点という結果にはつながらなかったが、落ち着いて焦らずに後半で戦い、最終的に勝ち切って勝点3を得ることが出来たのは良かったです。</p> <p>また、後半から途中出場した選手たちもそれぞれの役割を果たしてくれました。次につながる内容で、自分たちが追い求めるサッカーのイメージをつかんできたなと思います。</p> <p>引き続き質を求めてより良いプレーにつなげていくため、全体で戦い方を共有していきたいと思います。</p> <p>梅雨で蒸し暑い中での試合でしたが、日本製鉄大分サッカー部の皆さま、審判団の皆さま、応援いただいた皆さま、ありがとうございました。</p>   |
| 5 | 日本製鉄大分   | H   | ○3-0 | <p>ひいてブロックをつくってくる相手に対して、自分たちの成長をみせることができた試合だったと思います。</p> <p>自分たちの狙った形で得点することができましたし、まだまだ足りない部分があるとは言え、各選手が自分から呼び込む動きが出てきたと思います。</p> <p>なので、今節については全体としては満足いく試合でした。</p> <p>あとは、この動きをさらによくしていくことが必要で、狙ったプレーから得点に確実に結びつけるという質の高さを追求していきたいと思います。</p> <p>今季初の遠征試合でした。対戦相手の熊本県教員蹴友団の皆さま、ボールパーソンの皆さま、熊本県協会の皆さま、ありがとうございました。</p>  |
| 6 | 熊本県教員蹴友団 | A   | ○6-0 | <p>ひいてブロックをつくってくる相手に対して、自分たちの成長をみせることができた試合だったと思います。</p> <p>自分たちの狙った形で得点することができましたし、まだまだ足りない部分があるとは言え、各選手が自分から呼び込む動きが出てきたと思います。</p> <p>なので、今節については全体としては満足いく試合でした。</p> <p>あとは、この動きをさらによくしていくことが必要で、狙ったプレーから得点に確実に結びつけるという質の高さを追求していきたいと思います。</p> <p>今季初の遠征試合でした。対戦相手の熊本県教員蹴友団の皆さま、ボールパーソンの皆さま、熊本県協会の皆さま、ありがとうございました。</p>  |

| 節  | 対戦相手           | H/A | 試合結果 | 監督談話   |
|----|----------------|-----|------|--|
| 7  | NIFS KANOYA FC | H   | ○4-0 | <p>チームとしてチャンスをつくりながら前半はなかなか決められなかったのですが、後半もチャンスをつくり続けて我慢強く続けた結果、決めることができた試合でした。後半にチャンス決めきれることができたのは、チームとしての忍耐力、焦らずに試合を運ぶ力が出てきたんだなと感じています。</p> <p>また、途中出場の選手たちもチャンスをつくり、得点にも絡んでいて、チームとしての厚みが出てきたと感じる試合でした。</p> <p>守備でも0点で抑えることが出来たのは、改めてですが良かったと思っています。</p> <p>チームとして失点しないことをフォーカスしているところなので、ディフェンダーだけでなく全体で守るべきところをしっかりと守るという意識が浸透してきたと思います。</p> <p>とはいえ、まだまだの部分もあるので、よりよくなるために、目指すところに向かって更に意識を高くしていきたいです。</p> <p>今節は梅雨の時季で、蒸し暑いコンディションで試合が始まり、終盤にはバケツをひっくり返したような土砂降り両チームとも大変でしたが、観客の皆さまには最後まで応援していただきました。</p> <p>審判団や県協会の皆さま、NIFS KANOYA FCの皆さま、ありがとうございました。</p> |
| 8  | 九州総合スポーツカレッジ   | A   | ○4-0 | <p>今回の大分集中開催は初日が16時キックオフ、翌日が10時キックオフで非常にきつい時間設定の2試合で、しかも初日は豪雨の中で、2日間とも人工芝というかなりハードな環境でした。</p> <p>そのため、とにかくチームとして勝つことだけを念頭に戦った2試合で、結果を出すことができてよかったと思っています。</p>  |
| 9  | J.FC MIYAZAKI  | A   | ○3-2 | <p>次節からシーズンの後期になりますが、これまでチームとして積み重ねてきたことをもう一度共有して、さらに質の高いプレーを全員で意識していきたいと思っています。</p> <p>最後に、運営の大分県サッカー協会様、チームの皆様、ボールパーソンの皆様ありがとうございました。</p>  |
| 10 | 九州三菱自動車        | A   | ○4-0 | <p>前期最終戦（J.FC MIYAZAKIさんとの試合）で失点があったので、チームとして、シーズンの後半スタートの2戦はゼロ失点で抑えて勝つという目標を掲げた。</p> <p>まずはその目標が達成できたことは良かったと思います。また、前期とは違い、若手もスタメンから出て結果も出したという意味で、2戦ともよい試合になったと思っています。</p> <p>選手層のボリュームを出したいという意図もあったし、細かい部分では改善点は勿論ありますが、しっかり頑張ってくれたと思います。</p>   |
| 11 | 川副クラブ          | H   | ○3-0 | <p>今後もうまく選手を使いながら、質のある良い結果を出せるようにしたいと思います。</p> <p>梅雨で大雨との予報で心配もありましたが、無事に集中開催を終えることができました。</p> <p>佐賀県サッカー協会社会人連盟の皆様、運営の佐賀LIXIL FC、川副クラブの両チームの皆様、ボールパーソンの皆様ありがとうございました。</p>   |
| 12 | 佐賀LIXIL        | A   | ○1-0 | <p>お互いに同じ条件（ピッチ）ではありましたが、沖縄SVにとっては慣れない難しいグラウンドでの試合でした。</p> <p>決める時に決めきれなかったことは、昨年からの課題であり続けていて、今回もその課題をどう克服するかを考える試合内容になりました。</p> <p>スコアが1-0で勝点を得ることができたことと、無失点で勝つというチームの目標ともあわせると、最低限の結果は得られたと思います。</p> <p>ただし、質の向上はずっと考え続けなければならない。とくにこれから暑くなっていく時期には、一試合ごとの質をもっと上げていかねばならないし、それをめざして、かつ、プレーに反映させていきたいと思っています。</p> <p>初めての試合会場でしたが、試合運営の佐賀県社会人連盟、川副クラブ、対戦相手の佐賀LIXIL FC、ボールパーソンFC ALLURE JAPAN唐津、審判団の皆様、ありがとうございました。</p>  |
| 13 | 海邦銀行SC         | H   | ○4-0 | <p>暑いコンディションの中でどう戦うかを意識して、普段の練習通りにシンプルに攻めていくつもりだったが、自分たちで難しくする様子がみられた。</p> <p>自分たちがやるべきプレーが出来ていなかったため、中途半端なプレーが目立ち、ボールを失うなどゲームコントロールが出来ていなかったと思います。</p> <p>ハーフタイムではその点を選手たちに伝えて修正したので、後半は改善がみられて得点につながりました。</p> <p>結果を出せたことは良しとしますが、本来なら最初からこれが出来ないといけない。</p> <p>今節は沖縄のチーム同士での試合だったので、海銀さんにも協力してもらい「沖縄ダービー」として集客呼びかけなどもしました。</p> <p>たくさんの方々に来ていただき、サッカースクールでも地元の子も達が集まってくれました。有難うございました。</p> <p>審判団や県社会人連盟、海銀SCさん、イベント出演してもらった方々に、改めて感謝申し上げます。</p>   |

| 節  | 対戦相手           | H/A | 試合結果    | 監督談話  |
|----|----------------|-----|---------|---|
| 14 | 日本製鉄大分         | A   | ○ 1 - 0 | <p>試合前は、長い中断期間がありゲーム感覚が乏しくなり、うまく行かない点も出てくるだろうと心配していました。</p> <p>実際に試合に臨んで、細かい部分やゲーム感覚についてはやや鈍さが感じられましたが、全体としては悪くなかった試合運びだと思います。</p> <p>ここ最近の数試合でもよくあったことですが、いかに決めきれぬかという点は、今節でもチームの課題として挙がったと思います。</p> <p>ゴール前まで行く、運ぶ形は改善してきていますが、決めるという最後の部分は、引き続きトレーニングで選手たちに意識させていきたいと考えています。</p> <p>一方で、ゼロ（無失点）で抑えて勝ったことは評価したいです。</p> <p>フライトスケジュールの関係で試合時間の調整に応じていただいた日本製鉄大分の皆さん始め、審判団や大分県社会人連盟、ボールパーソンの皆様に改めて感謝申し上げます。</p>   |
| 15 | 熊本県教員蹴友団       | H   | ○ 8 - 1 | <p>なによりも失点が不要でした。今節の結果の評価はそこに尽きます。</p> <p>残り15分で交替枠すべてをつかって選手を投入したのに、そこから得点できず、失点もしてしまったことを重く受け止めないといけない。</p> <p>もう一度仕切り直して、失点をゼロに抑えることを徹底していきたい。</p> <p>それから、よりシンプルなプレーをどれだけ心掛けるか、質を上げていくこと、より精度を高めていくことを重視して戦ってきたいです。</p> <p>ホーム最終ゲームで日差しの強い中、たくさんの方々に応援に来ていただきありがとうございました。県協会社会人委員会、審判団の皆様、ありがとうございました。</p>  |
| 16 | NIFS KANOYA FC | A   | ○ 2 - 0 | <p>まずは、優勝を決めることができよかったですと思います。応援していただいた皆さんに感謝の気持ちです。</p> <p>NIFS KANOYA FCさんは最近どんどんと調子を上げてきていたので、正直、難しい試合展開になるだろうと予想していました。</p> <p>その中で、自分たちが取り組んでいるスタイルでしっかりと戦えるか、チャレンジになる試合と思っていました。</p> <p>実際の試合展開も、やはりそのような予想通りの展開になり簡単ではありませんでした。そのような中で結果を出して、かつ、ゼロ（失点）で抑えて優勝できたことは本当によかったですと思います。</p> <p>思った通りに試合を進めることが出来ない時でも、結果を出すこと、出せたことは重要で、繰り返しになりますが、良かったということになりますし、重要なことだと思います。</p> <p>ただし、きょうの試合でも出た課題があります。早く克服して次の試合にいかして全勝優勝でシーズンを勝ち抜くという今季のチーム目標に向けて準備していきたいですし、地域CLもしっかりと戦っていききたいと思います。</p> <p>対戦相手でも試合運営でもお世話になったNIFS KANOYA FCの皆様、鹿児島県協会の社会人委員会や審判団の方々、応援いただいた皆様、今節も有難うございました。</p> |
| 17 | 九州総合スポーツカレッジ   | H   | ○ 5 - 0 | <p>リーグ戦の最終2試合で、全勝をめざしていましたが最後の試合を落としたのは残念です。</p> <p>とくに最終節のJ.FC MIYAZAKIさんとの試合は、先制したのはよかったが、1失点してから浮足立ってしまった。</p> <p>こういう（暴風雨のような）きつい環境のときは、互いに試合を自分たちの思うように展開しづらく、一つの失点が厳しい結果につながる。</p> <p>一方で、チャンスは何度もあったので、それを生かすきらないといけないと改めて思いましたし、選手たちにも再度、その点を強調しました。</p> <p>これでリーグ戦は終わりましたが、地域CLに向けてしっかりと頭の中を切り替えて、今後の一日一日を大切にして戦っていききたいと思います。</p>  |
| 18 | J.FC MIYAZAKI  | H   | ● 1 - 3 | <p>九州リーグ代表として頑張っています。</p> <p>4月からリーグ事務局、各チームの皆さんにはお世話になりました。</p> <p>また、最後の集中開催では台風で大荒れの中で運営のJ.FC MIYAZAKIの皆様、ボールパーソンの鵬翔高校の皆さん、審判団、そして観戦に来て下さいました皆様、ほんとうにありがとうございました。</p>  |